

■戸坂潤 哲学者，評論家。＜軍国主義＞に抗して唯物論研究，ファシズム批判して検挙・投獄，＜敗戦＞寸前に獄死。

とさかじゅん

1900 = 東京神田で生まれる。

日露戦争終 1905 = 5歳：

伊藤博文暗殺1909 = 9歳：

明治天皇没 1912 = 12歳：

開成中学を経て，物理学者となる決意で，

本格政党内閣1918 = 18歳：一高の理科に入学したが，

原敬首相暗殺1921 = 21歳：三木清の先例に倣って，西田幾多郎・田辺元を擁する京大哲学科に入学，

護憲三派圧勝1924 = 24歳：卒業。

1年間兵役に服した後，同志社女専講師をへて，

金融恐慌 1927 = 27歳：

世界恐慌 1929 = 29歳：「科学方法論」を刊行し，大谷大教授となるが，この頃から日本共産党のシンパとなり，

海軍軍縮条約1930 = 30歳：「イデオロギーの論理学」。「逃走中の同党幹部田中清玄を匿って検挙された後，

満州事変 1931 = 31歳：上京し，法政大講師となり，

五一五事件 1932 = 32歳：「イデオロギー概論」。***三枝博音・岡邦雄・永田広志と{唯物論研究会}を創立，**

国際連盟脱退1933 = 33歳：「現代のための哲学」，

帝人疑獄事件1934 = 34歳：「現代哲学講話」。***思想不穩の理由で免職となる。以後，会の事務局長として，軍国主義に抵抗し，科学的**

精神を擁護・普及する運動に精力的に取り組むが，

芥川直木賞始1935 = 35歳：「日本イデオロギー論」「科学論」，

二二六事件 1936 = 36歳：「思想としての文学」「道徳の観念」「思想と風俗」「現代日本の思想対立」「現代唯物論講話」，

日中戦争始 1937 = 37歳：「世界の一環としての日本」「認識論とは何か」，

健保+総動員 1938 = 38歳：「読書法」。***古在由重ら会の主要メンバーとともに，治安維持法により検挙され，**

日米開戦 1941 = 41歳：

敗戦 1945 = 45歳：敗戦の1週間前，長野刑務所で獄死した。